

## 具体的な方策

### I 休日の部活動の段階的な地域移行(令和5年度以降、段階的に実施)

- ◆ 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保  
(育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用)
- ◆ 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
- ◆ 拠点校(地域)における実践研究の推進とその成果の全国展開

### II 合理的で効率的な部活動の推進

- ◆ 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との合同部活動の推進
- ◆ 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるICT活用の推進
- ◆ 主に地方大会の在り方の整理(実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等)

### 地域部活動の運営主体

- ・ 総合型地域スポーツクラブ
- ・ 民間のスポーツクラブ
- ・ 芸術文化団体 等

参画・協力

- ・ 退職教師
- ・ 指導を希望する教師
- ・ 地域のスポーツ指導者
- ・ スポーツ推進委員
- ・ 生徒の保護者 等

### 今後のスケジュール

R3	<u>モデル校による実践研究の実施・検証・成果の発信</u> <input type="checkbox"/> 地域人材を確保・マッチングする仕組みの構築 <input type="checkbox"/> 生徒への適切な指導に必要な地域人材の研修の実施 <input type="checkbox"/> 平日と休日の一貫指導のための連携・協力体制の構築
R4	<input type="checkbox"/> 費用負担の在り方の整理 <input type="checkbox"/> 地域部活動の運営団体の確保等
R5	休日部活動の段階的な地域移行

※以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。

※私立学校は、以上で示した公立学校の取組を参考に、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。